

国際ロータリー 第2570地区 第2グループ

志木ロータリークラブ



2024-25年度 国際ロータリー会長 ステファニー・アーチック 「ロータリーのマジック」
 2024-25年度 第2570地区ガバナー 五十幡和彦 「入って良かったロータリー」
 2024-25年度 志木ロータリークラブ会長 三上隆俊 「更なるクラブの魅力を協創しよう」

第2418回 移動例会

2025-2-5

- ◎司会 國分 学 副会長
- ◎点鐘 三上 隆俊 会長
- ◎ソング 君が代・奉仕の理想
- ◎ソングリーダー 神山 威仁 副SAA
- ◎四つのテスト 神山 威仁 副SAA
- ◎ゲスト 志木市長 香川 武文様
都築 雄太様
(志木市・市長公室秘書課主任)
- ◎ビジター 加藤 涼聖様(新座こぶLRC会長)



ソングリーダー 神山威仁 副SAA

出席をさせていただいております。お付き合いがあるからこそお誘いをいただいている訳ですが、どこに行きましても志木クラブの会員や、ロータリー関係の方々が、主催者側は勿論ですが、来賓としていらっしゃる、その多さを感じています。あらゆる社会の場面で重要なポジションを担われている方々が、今、こうして、同じ場所、時間を共有していることに、改めて、緊張感が湧き、これからはしっかりやらなければと感じています。

「会長挨拶」

会長 三上隆俊

皆様こんにちは。多くの会員のご出席をいただきまして有難うございます。

ご多忙中の所、本日の卓話をお引き受け下さいました、志木市長香川武文（かがわ たけふみ）様、誠に有難うございます。

さて、この時期、皆様は様々な新年会にご出席する機会が多いかと存じます。私も志木クラブの会長を務める関係で、様々な集いに

話は飛びますが、ロータリークラブの定款では、政治的主題の禁止、いかなる係争中の公共問題についても意見を表明しないものとするということが記されています。これを前置きとして話をさせていただきますが、今年に入り、世界を見ましても、先月にはアメリカ新大統領が就任し、世界の様々な情勢の先行き、国内も、物価高、人材不足、ガバナンス、コンプライアンスの難しさなど、様々な不安が付きまっています。それらの解決に

は、信憑性の不確かな情報に惑わされず、状況を把握し、対応することが重要だと考えます。

この後の卓話は、私たちの生活や活動の拠点となっている志木市の現況を知る貴重な機会となります。志木市の顔として第一線でご奮闘されている香川市長の生の声に触れ、将来への期待が皆様と共有できれば幸いです。

以上、雑駁ですが、会長挨拶と致します。

「理事会報告」(2/5分) 会長 三上隆俊

1) 第2グループIM(2/15)例会日振替及び全員登録の件

2/12(水)の例会を振り替える。全員登録(全員出席扱い)とする。

2) 新年会・新会員歓迎会収支決算の件

新年会・新会員歓迎会(1/22)の収支決算書が親睦活動委員会より提出され、報告後承認された。

3) 新座こぶしRC創立30周年式典(3/8)の件

新座こぶしRC創立30周年式典、3月8日午後2:00より、会場ベルセゾンで実施予定。志木RCからは、会長・幹事が出席する。

(会費は1名につき1万円クラブより支出)

4) 第8回志木さくらフェスタ参加(3/23)例会とする件

第8回志木さくらフェスタ。3月23日(日)に行われる。志木RC担当人力車運営を、例会として、社会奉仕委員会中心にクラブ会員出席のもと行う。3/26(水)の例会に振り替える。

5) 志木市川と街をきれいにする運動推進協議会への活動助成金の件

志木市川と街をきれいにする運動推進協議会より、活動助成金の依頼があり承認した。拠出金は請求額10万円。(活動助成金は年2回の「親と子の市内まるごとクリーン作戦」の実施等、ごみのないきれいな街づくり

を目指す活動費となる)

6) 親睦旅行(4/6~4/7)の件

親睦活動委員会より旅行の行程表が改めて提出され、了承された。

行先は福島方面。宿泊は小名浜オーシャンホテル。尚、職業奉仕委員会活動として、震災関連施設の視察を行う。

7) アロハ商店会依頼の件

商店会事業に伴い、志木駅前広場の待ち合わせカップ台座に文字シールを一定期間取付たいとの依頼があり、了承した。

「幹事報告」

幹事 田中幸彦



1. 国際ロータリー日本事務局より2件受信

①2月の為替レート\$1=¥154

②平和構築と紛争予防月間リソース案内

「今月の誕生日祝」

親睦活動委員 戸國大介



2日 高橋 良会員 3日 市之瀬正靖会員

9日 醍醐治江会員 10日 白井義尊会員

14日 小林八郎会員

「誕生日スピーチ」 醍醐治江会員

今日は2月の誕生日祝いをして頂き誠にありがとうございます。2月生まれの皆さん、今年は何かやりたいなど、目標を考えてみましょう。どうぞよろしくお願い致します。(談)

「委員会報告」

●親睦活動委員会 委員 古田征也



親睦旅行のお知らせ

今年度の親睦旅行は、4月6日から7日まで、行先は福島に決定いたしました。

東日本大震災から早くも14年経ちますが、震災を伝える「コミュタン福島」、そして「いわき震災伝承みらい館」への職業奉仕も兼ねており、今の福島を体感する機会も設けております。

出欠の回覧と一緒に行程表も付けて回しておりますので、多くの方の参加をお待ちしておりますので、是非丸を付けていただけるようよろしくお願いします。

●親睦活動委員会 スポーツ担当 吉原 正



第2グループゴルフコンペの案内

4月10日(木) 鳩山カントリークラブ 皆様、奮ってご参加下さい。

「卓話」

「これからの志木市について」

志木市長 香川武文様



自治体DX(デジタルトランスフォーメーション)の取組

「市役所に行かなくていい」仕組みづくりの推進

「市役所に行かなくていい」仕組みづくりを推進するために、新たなオンライン申請のシステムを導入。
住民票の写しや課税証明書など、**電子申請**ができる手続きを増やしています。

電子申請が可能な手続きの数
令和7年1月1日時点 **250種類以上**
【参考】令和5年度末時点 110種類

キャッシュレス決済の拡充

市民の利便性の向上を図るため、**キャッシュレス決済**を導入。
・窓口での住民票や課税証明書の手数料のキャッシュレス決済
・市税等の納付書をスマートフォンで読み取るスマートフォン決済

働き方改革の推進①

自治体DXの取組を踏まえて、職員の**働きやすい環境づくり**を推進し、人材確保につなげるとともに、職員のパフォーマンスを最大限に引き出すことで、**市民サービスを向上**させていきます。

庁舎開庁時間の変更

庁舎開庁時間を**8時45分から16時30分**までとします。
※市民サービスステーション、柳瀬川駅前出張所など一部施設の開庁時間は従来どおり。

ビジネスカジュアルの導入

・通年で**ノーネクタイ・ノージャケット**を可とします。
・**スニーカーの着用**を可とします。

勤務間インターバルの導入とテレワーク利用の拡充

・勤務終了から翌日の始業までに原則、**11時間の休息時間**を設ける仕組みを導入します。
・職員の多様な働き方の推進のため、**テレワークの利用を拡大**します。

働き方改革の推進②

「ハラスメント 志木市職員 しない させない ゆるさない宣言」

令和6年6月1日に「ハラスメント 志木市職員 しない させない ゆるさない宣言」として、**職員の働きやすい職場環境づくり**と**ハラスメントに対する志木市の姿勢**を市民の皆様と共有させていただく目的で、県内初となるハラスメント対策に関する姿勢を宣言しました。

本庁舎及び健康増進センターの通話録音

お客様対応の品質向上と業務の適正な執行の確保等を図るため、本庁舎及び健康増進センター内での電話対応について、**通話録音装置による録音**を行っています。

2月は「平和構築と紛争予防月間」です



◇2418-4
志木 RC 会報

例会は変更になる場合があります。ご確認下さい
■新座こぶしRC 第1・第3(水) 12:30～ ベルセゾン

第2グループ各RC 例会日・会場一覧(順不同)
事務局 080-5457-1100 戸高

当クラブ会員が
十文字学園女子大学にて講義
1月20日



スマイル・宮川慎太郎副SAA



去る1月20日(月)、十文字学園女子大学に於いて、西川和人・大村相基の両会員が講義を行ないました。内容は「ロータリークラブについて」でした。

写真右端は十文字学園女子大学副学長 星野敦子教授。



出席・坂間智子委員

●出席報告 出席向上委員 坂間智子

会員数51名 出席義務者48名 免除者3名

本日出席	本日欠席	本日出席率
41名	10名	82.00%

前々回 MU	前々回修正出席率	平均出席率
(13名中0名)	77.55%	80.01%

志木ロータリークラブ会報アーカイブ

2012年1月18日(岩下正基会長年度)
第1937回例会会報より再録

卓 話

「創立当時の話」

新藤邦泰 会員

志木ロータリークラブの創立は昭和47年1月17日で、承認が同年2月2日、認証状伝達式が同年11月23日であります。

スポンサークラブは朝霞ロータリークラブで、当時の特別代表綿谷広光氏を始めとする方々のご協力、志木の人々の努力により誕生しました。設立当時は埼玉と千葉は合同であり、当時のガバナーは、千葉の市川東ロータリークラブの青山幸高氏でありました。その後、昭和48年から49年に、埼玉と千葉が分離し、埼玉の初代ガバナーは浦和ロータリークラブの半田利一氏でありました。

志木ロータリークラブ初代幹部は、会長が三上吉之助氏、副会長は神山博光氏、幹事は宮川慶一氏で、当時は副幹事として私、新藤が務めました。創立時の会員数は35名で、志木クラブの設立前に朝霞ロータリークラブに属していた志木の方々も転入され、チャーターメンバーとして参画されました。

チャーターナイトの会場は、まだ出来たばかりの慶応義塾志木高校の体育館をお借りし、養生としてテントのシートを床に敷き詰め、ボーイスカウトの皆さんが各ロータリークラブの旗を持っての入場を行い、式典のプレゼンターのアシスタントとして会員のお嬢さんに、そして、多くの会員のご夫人方にお手伝いをいただき、参加人数は851名でした。

設立当時の会員35名の職種では、医療関

係25.6%、金融関係7.6%、工業関係15.4%、教育関係5.2%、商業関係35.9%、書士・測量関係10.2%で、住所は志木地区71.8%、宗岡7.7%、柏町12.8%、その他7.7%でありました。

現在は、医療関係6%、金融関係2%、工業関係28%、商業関係32%、書士・損保・不動産関係18%、運輸・住宅・造園関係14%で、住所は志木地区56%、宗岡24%、柏町16%、朝霞4%となっています。

事業としましても、「川をきれいにする運動」「ボーイスカウト活動への援助」等、創始の頃より続いています。

私のロータリークラブ、そして志木クラブへの期待として、40歳台から50歳台の人が、今後の街がどうあるべきか、10年後そして、20年後というようなスパンで考え、更に若い世代の人に伝え、引っ張っていく事が大切で、相互理解を深めながら開拓していく必要があると思います。私も多くの先輩から叱咤激励をいただきながら、未来について話し合い、進むべき道を議論してきました。当時は夢物語だった事が、現在に至っては現実的になった事も少なくありません。仕事についても良くご指導いただき、親とは違う、お客様として先生としての話でありました。これこそが、職業奉仕、クラブ奉仕の教えだと思えます。

社会奉仕、国際奉仕も大切ですが、ロータリークラブは奉仕・寄付団体というだけではなく、真の社会還元、次期世代の教育に努力する事が重要です。1905年にシカゴで産声をあげたロータリークラブの原点に戻り、考えることも大事な事だと思います。

最後に会場についてですが、設立当時から銀行の施設をお借りし、現在も続けているケースは稀で、ご厚意に感謝申し上げたいと思います。

Shiki Weekly Archive